

School Guide

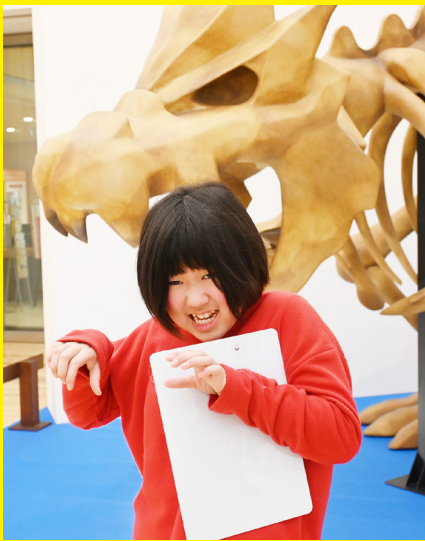
2026



特別支援学校

聖母の家学園 四日市校

SEIBONOIEGAKUEN YOKKAICHI



小学部から専攻科 16年間の豊かな学び



本校の理念

障がいのある人たちの役割を創造し、共生社会の実現をめざす学校づくり

①カトリックの愛の精神に基づく学校

人を大切にし、感謝の生活ができる人格形成をめざします

②小学部から高等部専攻科まで 16 年間の教育課程をもつ学校

一人ひとりが、自分らしく豊かに活動し、学校生活だからこそできる経験を大事にしていきます
そして、専攻科 4 年で学校から社会への移行期の豊かな教育をめざします

③卒業後の生活を見据え、一人ひとりの可能性を広げていく学校

安心して学び続けられるように卒業後の雇用の場の設立をめざします

④開かれた学校

地域・教育・福祉・行政・医療・企業など関係者が連携し、みんなで力を合わせる学校づくりを通して共生社会の形成をめざします

教育目標

- カトリックの精神に基づいて人を大切にし、感謝の生活ができる人格をつくる教育をめざします
- 児童・生徒が持つ固有の人格を認め、障がいにとらわれずに、全人格的にそれを発達させる教育をめざします
- 一人ひとりの主体性を尊重し、生涯を見通す指導と支援に努めます
- 保護者との緊密な協力によって、個別の発達と集団への参加を促し、生活する力を身につけた人間を育てます





学校の特徴

三重県で最初の養護学校

養護学校が義務化されたのは昭和 54 年。聖母の家学園はそれ以前の昭和 46 年に、三重県で初めての養護学校（小学部・中学部）として創立しました。50 年以上の歴史を持つ、三重県で最も古い特別支援学校（知的障害）です。

学校法人が運営する特別支援学校

本校は、私立特別支援連合会に加盟しています。本校を含む 15 校の加盟校と情報交換・協議・研究し、特別支援教育の振興と推進を図っています。

専攻科のある特別支援学校

本校は高等部専攻科がある東海地方では唯一の特別支援学校です。小学部から高等部専攻科までの 16 年間連続した教育が可能です。

地域活動・福祉施設との連携

隣接する「聖母の家」及び、「生活介護事業所かしの木」と連携しています。

地域とのつながり、卒業後のアフターフォロー（教育・支援センターふれあい）

本校の設置する支援センターが、本校に在籍する生徒や保護者だけでなく、地域の学校で学ぶ子どもたちやご家庭と交流や情報交換を通して地域づくりを図ります。また、卒業後は学生から社会人へスムーズに移行されるようサポートしていきます。在学中はもちろん、卒業・修了後も、子どもたちの成長を見守り対応することができます。

余暇活動支援（青年サークル『マイムマイム』）

マイムマイムは、仲間たちの充実した余暇を支援するための独自の取り組み（余暇活動支援事業）の一環です。仲間・保護者・教職員が話し合い、ボランティアの協力も得ながら、自主的な活動・運営を行っています。ハイキングやウォークラリー、ボウリングなどのスポーツレクリエーションなど、様々な活動を計画しています。



余暇活動支援（音楽サークル『マリアボーイズ&ガールズ』）

マリアボーイズ&ガールズは、仲間たちの充実した余暇を支援するための独自の取り組み（余暇活動支援事業）の一環です。音楽活動を通して、余暇や日常の暮らしを豊かにしたいとの願いから在校生、卒業生、職員により平成 6 年に誕生いたしました。現在は地域でのイベント出演と、それに向けての練習が活動となっています。



教育課程

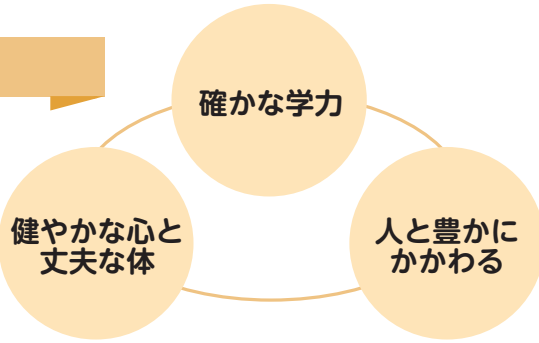
特別支援学校聖母の家学園四日市校 2026年度教育課程

学部	小学部					中学部		高等部本科		高等部専攻科			
	1年	2年	3年	4~6年					1・2年	3・4年 (NEXT)			
各教科等を合わせた指導	あそび	2	2	2		労働	5	労働	5	経済	4	スキルアップ	3
	生活単元学習	2	2	2	4					日常生活の指導	4	日常生活の指導	4
	日常生活の指導	5	5	5	5	日常生活の指導	5	日常生活の指導	4	演習	6	ワークトレーニング	9
教科別の指導	国語	2	2	3	3	国語	2	言語	2	研究ゼミ	3	社会参加	5
	算数	2	2	3	3	数学	2	数量	3	生活講座	3	生活の自立と自律	3
	生活	2	2	2	2	理科	2	理科	1.5	芸術	1	趣味	2
						社会	2	社会	1.5				
								芸術	2	音楽	1		
	音楽	2	2	2	2	音楽	1	音楽	1	スポーツ	2	スポーツ	2
	図工	1	2	2	2	美術	2	美術	1	道徳	1	道徳	1
体育	2	2	2	3	保健体育	3	保健体育	3	特別活動	1	特別活動	1	
領域別の指導	道徳	1	1	1	1	道徳	1	道徳	1	総合的な学習	4		
	自立活動	3	3	3	3	自立活動	2	自立活動	2				
	特別活動	1	1	1	1	特別活動	1	特別活動	1				
					総合的な学習	1	総合的な学習	2					
合計		25	26	28	29		29		30		30		30



01 小学部の学び

教育目標



うみあそび

時間割

1年生

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	朝の会 日常生活の指導				
1	自立活動 あそび				
2	生単	国語	算数	国語	算数
3		音楽	体育	音楽	体育
昼食等	給食 日常生活の指導				
4	特別活動	生活	道徳	図工	
5					
帰りの会等	帰りの会 日常生活の指導				

こいのぼり集会



学習発表会



春の遠足

2年生

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	朝の会 日常生活の指導				
1	自立活動 あそび				
2	生単	国語	算数	国語	算数
3		音楽	体育	音楽	体育
昼食等	給食 日常生活の指導				
4	特別活動	生活	道徳	図工	
5					
帰りの会等	帰りの会 日常生活の指導				



なつまつり



マラソン



スポーツフェスタ

時間割

3年生

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	朝の会		日常生活の指導		
1	自立活動	国語 / 算数	自立活動	自立活動	算数 / 国語
2	生単		算数	国語	
3		音楽	体育	音楽	体育
昼食等	給食		日常生活の指導		
4	特別活動	生活	道徳	図工	あそび
5	あそび				
帰りの会等	帰りの会		日常生活の指導		



雪山体験



宿泊学習



秋の遠足

4・5・6年生

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	朝の会		日常生活の指導		
1	自立活動	国語 / 算数	自立活動	自立活動	算数 / 国語
2	生単		算数	国語	
3		音楽	体育	音楽	体育
昼食等	給食		日常生活の指導		
4	特別活動	生活	道徳	図工	生単
5	体育				
帰りの会等	帰りの会		日常生活の指導		



七夕集会



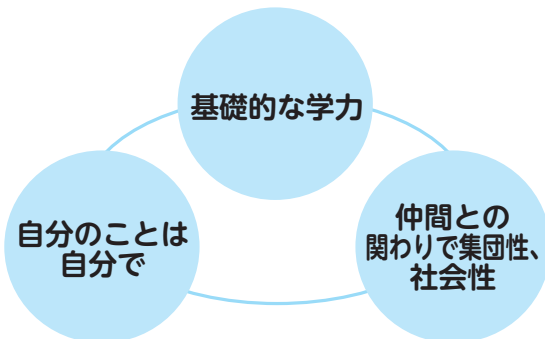
クリスマス集会



ハロウィン

02 中学部の学び

教育目標



雪山体験



クリスマス集会



学習発表会



修学旅行

中学部時間割

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	朝の会		日常生活の指導		
1	自立活動	音楽	総合	自立活動	労働
2	道徳 特別活動	国語・数学	理科・社会	国語・数学	
3					
昼食等	給食		日常生活の指導		
4	保健体育	労働	美術	理科・社会	保健体育
5					
帰りの会	帰りの会		日常生活の指導		

スポーツフェスタ



宿泊学習

聖劇

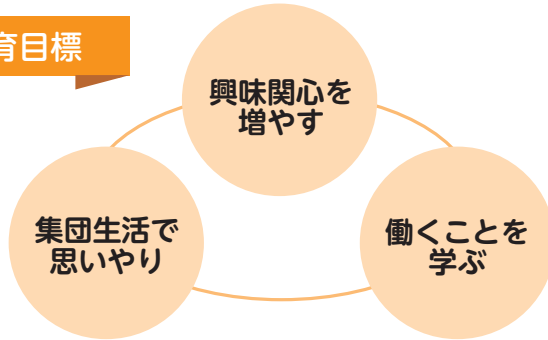


03 高等部本科の学び

高等部 部目標

高等部7年間教育の中で自己を知り、社会生活につながる力をつけ、豊かでたくましい人間の育成をめざす。

高等部本科教育目標



おしゃれ講座



宿泊学習



余暇活動

高等部本科時間割

日課	月	火	水	木	金
朝の会等		ホームルーム	日常生活の指導	自立活動	
1	労働	総合	数量	理科・社会	自立活動
2		保健体育			言語
3					
昼食等		給食	日常生活の指導	自立活動	
4	道徳	音楽	特別活動	芸術	労働
5	総合	美術	保健体育		
帰りの会		ホームルーム	日常生活の指導	自立活動	

学習発表会



校内実習

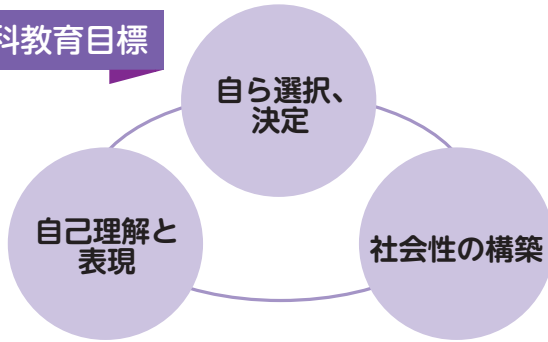


社会見学



04 専攻科(1,2年生)の学び

高等部専攻科教育目標



2年生沖縄旅行

高等部専攻科1・2年生で大切にしていること

専攻科に入学した仲間たちの多くは、これまでの様々な体験を通して「できること」が増え、自信と「自己肯定感」を持ち始めています。そんな彼らだからこそ、思春期後期から青年期に向かって心も身体も大きく変化・成長するこの時期に、活動の場と、学ぶ期間と、共に過ごす仲間のあることが大きな意味を持ちます。専攻科の初めの2年間は、集団の中で自分らしさを発揮できるような学びを大切にしています。



二十歳の集い



トレッキング



スポーツフェスタ



テーブルマナー

高等部専攻科1・2年生時間割

日課	月	火	水	木	金	
朝の会等	ホームルーム 日常生活の指導					
1	総合	研究ゼミ	経済	演習	生活講座	
2						
3						
昼食等	給食				特別活動	
4	芸術	スポーツ	経済			道徳
5	音楽		総合			
帰りの会	ホームルーム 日常生活の指導					



経済



研究ゼミ発表会



マリアハウス

05 専攻科NEXT (3, 4年生課程) の学び

高等部専攻科3・4年生で大切にしていること

専攻科3・4年生 (NEXT) では、「何事にもチャレンジ!」をモットーに、これまでの学校生活、とりわけ専攻科1・2年生時に培った「自己選択・自己決定できる力」や「仲間との協働で活動を企画運営する力」を、学内だけでなく社会の中で発揮することを大切にしています。3年生進級時に、将来像をイメージして「生活支援コース」「就労支援コース」に分かれますが、コースを超えて共に学ぶ中で学校生活を楽しみ、一人ひとりの課題に応じたスキルアップをめざします。



社会参加 (小学部交流)



趣味のひろば (茶摘み)



ビジネスマナー講座



実践報告会

高等部専攻科3・4年生時間割

日課	月	火	水	木	金
朝の会等	ホームルーム 日常生活の指導				
1	生活の 自立と自律	スキルアップ	ワーク トレーニング	社会参加	ワーク トレーニング
2					
3					
昼食等	給食				
4	趣味	スポーツ	道徳	社会参加	
5			特別活動		
帰りの会	ホームルーム 日常生活の指導				



夏祭り

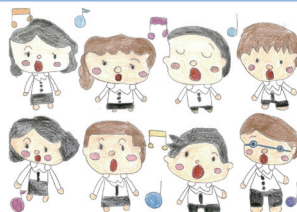


進路のひろば



ワークトレーニング (マルシェ作業)

学級編成・児童生徒数



学部 学年		1	2	3	4	5	6	小計	計
小学部	男	2	0	2	4	2	1	11	21
	女	2	2	2	1	1	2	10	
中学部	男	7	4	6				17	25
	女	1	3	4				8	
高等部 本科	男	10	6	7				23	36
	女	3	6	4				13	
高等部 専攻科	男	7	7	5	5			24	36
	女	5	3	2	2			12	
								合計	118

通学形態



	小学部	中学部	本科	専攻科	合計
自主通学	0	0	6	5	11
寄宿舎	0	0	1	0	1
スクールバス	19	19	24	28	93
施設入所	2	6	5	0	13
保護者送迎	0	0	0	3	3
合計	21	25	36	36	118

進路状況



年度	一般就労	就労継続 支援 A 型	就労継続 支援 B 型	就労移行 支援	生活介護	地域活動 支援 センター	その他	合計
R5	1	6	4	0	3	0	1	15
R6	3	0	4	1	6	0	1	16
R7	3	1	7	1	2	0	5	19

沿革

S46年		福祉型障害児施設（現在）「聖母の家」内に学校法人養護学校聖母の家学園（小学部・中学部）を設立
S46年		理事長 古屋義之司教 就任
		校長 アントニオ・プロドニアック神父 就任（初代）
S47年	9月	校長 ザビエル・イラオラ神父（第二代） R.R. ザーン神父を迎え再発足 校章制定
S50年	4月	校歌制定
S52年	4月	理事長 田中健一司教 就任
S54年	4月	校長 R・R・ザーン神父（第三代）
S59年	4月	校長 シスター 岡崎光枝 就任（第四代）
S61年	4月	校長 伊豫田博 就任（第五代）
S62年	3月	高等部を設置
	4月	理事長 山本好明 就任
S63年	5月	校長 シスター 穂山アイ子 就任（第六代）、スクールバス運行開始、寄宿舍設置
	7月	養護学校聖母の家学園援護促進協議会発足
H3年	5月	援護会 小規模授産施設「わかたけ萩の里」設置、開所 創立 20 周年記念式典と記念誌発刊
H5年	2月	理事長 森田治 就任
H6年	4月	新校舎建設委員会発足
H7年	4月	高等部専攻科（2年制）設置
H10年	4月	校長 永田皓 就任（第七代）
H13年	9月	校長 西舘勲 就任（第八代）
H14年	4月	理事長 櫻井俊夫 就任
H17年	10月	公開研究会開催、全国専攻科（特別ニーズ教育）研究会第 2 回 研究集会開催
H19年	4月	「養護学校 聖母の家学園」より「特別支援学校 聖母の家学園」へ学校名を変更
H20年	4月	支援センターを設置
H24年	4月	校長 辻 正 就任（第九代）
	5月	理事長 伊藤春樹 就任
H27年	2月	新校舎落成
	12月	全国専攻科（特別ニーズ教育）研究集会 in 三重開催
H28年	12月	特定非営利活動法人聖母の家学園福祉会設立
H29年	4月	校長 大橋里栄 就任（第十代）
	4月	高等部専攻科 NEXT（3・4年課程）設置
R2年	6月	特定非営利活動法人聖母の家学園福祉会「生活介護事業所かしの木」設置
R3年	10月	創立 50 周年記念式典と記念誌発刊
R4年	4月	いなべ市立旧東藤原小学校校舎の無償譲渡
R6年	4月	校長 山下達也 就任（第十一代）
	4月	特別支援学校 聖母の家学園 いなべ校 開校

職員構成

	校 長	副 校 長	事 務 長	教 頭	教 諭	講 師	非 常 勤 講 師	養 護 教 諭	事 務 員	学 習 支 援 員	支 援 員	栄 養 士 ・ 事 務 員	校 務 員	農 業 支 援 員	添 乗 員	寄 宿 舎 寮 母	内 科 医	歯 科 医	薬 劑 師
男	1	1	1	1	14	2	1	0	0	2	4	0	1	1	8	0	1	1	0
女	0	0	0	0	12	3	2	2	2	0	13	1	0	0	1	1	0	0	1
計	1	1	1	1	26	5	3	2	2	2	17	1	1	1	9	1	1	1	1

施設紹介



正門入口



講堂

小学部・中学部



小学部教室



中学部教室



デイルーム



学習室



調理室

高等部



本科教室



専攻科教室



玄関



調理室



1階廊下

聖母の家学園の魅力

児童・生徒のみんなからの声を紹介します



Q1.聖母の家学園に来てよかったことは？
A.友だちがいっぱいできたこと。いっぱい行事を楽しめたこと。友だちといっぱい遊んだこと。友だちとたくさん授業をしたこと。生き物の世話をしたこと。
Q2.小学部6年間で楽しかったことは？
A.みんなとカラオケをしたこと。修学旅行に行ったこと。友だちと勉強や授業をしたこと。行事は全部楽しかった。



聖母の家学園に入って良かったことは、漢検にチャレンジできたこと。お友だちができたこと。美術でスノードームなどを作ったこと。思い出に残っている行事は、校外学習。名古屋港水族館や三重総合博物館(MieMu)などに行ったり、四日市あすなろう鉄道に乗ったり、買い物学習にも行ったりした。買い物学習では、自分で注文したり、欲しいものを買ったりできた。



聖母の家学園に入って良かったことは、小・中や専攻科などたくさんの仲間たちと協力できたこと。思い出に残っている行事は、宿泊学習。みんなと一緒に夕飯を食べたのがすごく嬉しかった。聖母の家学園の魅力は、“自分らしさ”や“協調性”を学び、見つけるところ！



聖母の家学園に入って良かったことは、校外学習が多い。校外に出て活動するのが楽しい。研究ゼミなどで自分が好きなことを調べることができる。思い出に残っている行事は、沖縄旅行。沖縄の食文化や気候、平和学習について学ぶことができた。聖母の家学園の魅力は、自分自身を知っている先生をふれあうことができる。



聖母の家学園に入って良かったことは、友だちという存在がたくさんできた。唯一無二とも言える親友もできた。人とのつながりも広がっていった。自分の素直な気持ちや思いを出せるようになった。思い出に残っている行事は、スポーツフェスタ。自分たちの世代の勢いや団結力はいまだかつてないと思う。聖母の家学園の魅力は、生徒同士が少ないので、すぐに仲良くなりやすい。先生と生徒の距離が近くて相談事をすぐに話しやすい。NEXT 4年生まで通える。



保護者の皆様からいただいた声を紹介します

Q1. 聖母の家学園の魅力は何ですか？

- ・息子のできないところよりもできているところをちゃんと見て、認めてくれること（小学部6年）
- ・先生がすごく生徒のことを考えて行動してくれる。保護者に対してもすごく親身になって相談に乗ってくれる（中学部3年）
- ・本科を卒業した後も専攻科に通えるところ。また、先生のサポートがとても手厚く1人1人に合った対応してくれるので良いところを伸ばしてもらえるところ（高等部本科3年）
- ・専攻科NEXTまでの16年間の教育課程。また、先生が温かく見守ってくださること（高等部専攻科2年）
- ・生徒に主体性を持たせているところ（高等部専攻科NEXT4年生）



Q2. 聖母の家学園に入学して

よかったことは何ですか？

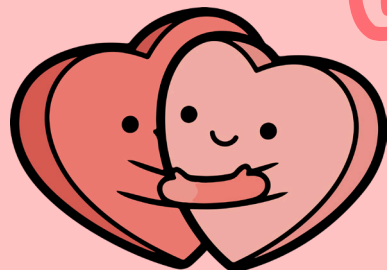
- ・自分の意思をはっきり伝えられるようになったこと。それは先生方が、息子の話に耳を傾けてくれるから。さらに、「〇〇はできる」「〇〇はできない」「〇〇だけ手伝ってほしい」も言えるようになった（小学部6年）
- ・全てにおいてよかった。通常学校ではできなかったことができ、娘がまっすぐに成長してくれたこと（中学部3年）
- ・毎日すごく楽しく通えている。安心して行事や旅行なども連れて行ってもらえる。高校生らしく仲間と一緒に活動してみんなでやり遂げた達成感などを味わっているなどとても充実した学生が送れていると思う（高等部本科3年）
- ・学園での行事だけでなく、校外学習などでの学びの機会も多いこと（高等部専攻科2年）
- ・自分で考え、行動できるようになってきたこと（高等部専攻科NEXT4年生）



◇その他 寄せられたご意見です

<学校について>

- ・とてもアットホームで温かい雰囲気に包まれている
- ・どこにでも当てはまる子ではない難しいタイプの子でも受け入れてくれて居場所を作ってくれる学校
- ・子どもの特性や性格を理解してもらえ、環境で学習面だけではなく自立に向けた身の回りのサポートをしてもらえる。何より子どもが安心して通学を楽しみにしている



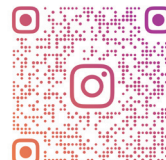
<聖母の家学園での子どもの成長について>

- ・校内行事や校外活動に参加することが難しかったのに、発表会でたくさんの人が見ている前でみんなと同じように活動することができている息子を見て、驚き感動した
- ・聖母の家学園で過ごし、自分の意見や思いを自分で伝えられるようになってきたと思う



お問い合わせ先

〒 510-0961 三重県四日市市波木町 330-5
TEL 059-321-4502
FAX 059-321-4513
mail office@seibonoie-gakuen.ac.jp
ホームページもご覧ください
<https://www.seibonoie-gakuen.ac.jp>

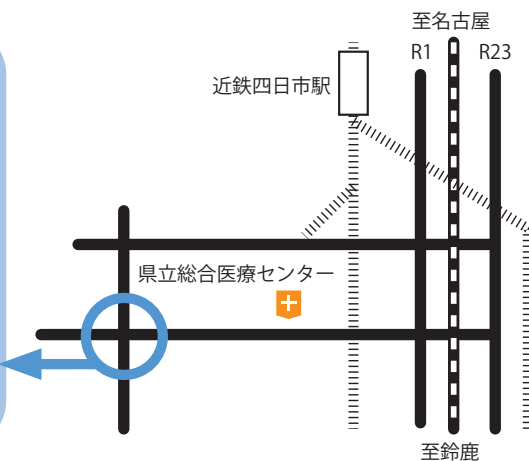


SEIBONOIEGAKUEN

日々の活動は Facebook、Instagram でご覧ください

交通アクセス

国道1号線日永5南交差点を西へ2.5km
東名阪自動車道四日市インターより8km
近鉄四日市駅西口1番乗り場、三重交通バス41系統
笹川テニス場行きにて聖母の家前下車、徒歩約3分。



スクールバス



特別支援学校

聖母の家学園 四日市校

SEIBONOIEGAKUEN YOKKAICHI